

# 佐伯藩史料「温故知新録」

第六巻

## 六月一日(水)から発売開始!

「温故知新録」は、佐伯藩家老・関谷長熙が、二十年の歳月をかけ、四十万頁に及ぶ膨大な藩政史料の中から、藩の格式や慣例、家中諸家主の進退任じなど、治世上の重要史料を編さんしたものです。

市は、この「温故知新録」を新たに編集し、原文と現代語訳を中心とした佐伯藩史料「温故知新録」として刊行しています。

今年の三月、合併により誕生した新「佐伯市」の大部分が、かつての佐伯藩領と重なっており、「温故知新録」は、当時の佐伯の様子がかがえる興味深い史料となっています。

これまで刊行した第一〜五巻に続き、最新の第六巻を六月一日(水)から発売開始します。購入希望者は、社会教育課文化係へお問い合わせください。

### 【第六巻の収録内容】

①高慶公御手日記 江戸日記

元文二年(一七三七年)〜同四年(一七三九年)に、参勤交代で江戸に滞在していた毛利高慶がつけていた日記。子の高能が結婚をしたときの様子がわかる記事などがあります。

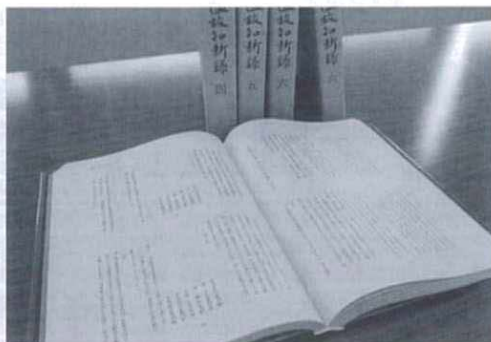
②高慶公御手日記 佐伯日記 享保十五年(一七三〇年)〜同十八年(一七三三年)に、高慶が佐伯での暮らしを記したものの。当時発生した「借廻し銀事件」という詐欺事件に関する記述あり。

③江府年始亥猪御礼帳 年始や亥猪といったお祝いの日に、あいさつをした家臣の名簿です。

④付録 「御山城之図」 (佐伯鶴屋城山頂図)

▽編集 豊田 寛三さん(大分大学副学長)

橋本 操六さん(元大分県先哲叢書編さん審議会委員)



発売される「温故知新録」第6巻

▽定価 6,000円(税込み)  
▽既刊の状況

第一・二巻(完売)  
第三巻(在庫わずか)  
第四・五巻(在庫あり)

《問い合わせ》

教育委員会社会教育課文化係  
(市役所第3庁舎5階、☎224  
059、FAX 240231)

## 九州出前演芸寄席

# 「大入り座」を開催します!

一流の日本舞踊とシンセサイザーの演奏、そして講釈。プロの演芸を楽しみませんか? 皆様のご来場をお待ちしています。

### ●日程

6月14日(火)	14時30分~ 佐伯文化会館
	19時30分~ 鶴見地区公民館
6月15日(水)	13時30分~ 宇目ふれあいセンター
	19時30分~ 弥生文化会館

●出演者 若柳雅康(日本舞踊 正派若柳流)  
羽野誠司(シンセサイザー演奏者)  
宝井琴梅(講釈師)

●入場料 無 料



若柳雅康  
わか やぎ まさ やす



羽野誠司  
は の せい じ



宝井琴梅  
たからい きん ぱい

《問い合わせ》  
教育委員会社会教育課 (☎22-3245)